

総務部消防防災課  
内線 2487  
直通 092-643-3113  
担当 中村・岩永

## 平成22年度福岡県総合防災訓練について

- 今年も梅雨入りに備えて5月30日（日）に、久留米市の筑後川河川敷を主会場として、福岡県総合防災訓練を開催します。
- この総合防災訓練は、災害時における防災関係機関の連携の強化、防災技術の向上並びに県民の防災意識の高揚を図ることを目的として、県、地元自治体、防災関係機関及び地域住民が一体となって実施します。
- 過去最大である180の防災関係機関（消防本部、消防団、警察、自衛隊、医療機関、ボランティア団体等）が参加し、風水害や地震、列車事故や生物・化学テロなどの特殊災害を想定した36種目の訓練を行います。  
車両約160台、航空機11機、人員約2,200名が参加します。
- 今回の訓練種目の特徴  
今年は、昨年7月の中国・九州北部豪雨や、5年前の福岡県西方沖地震規模の地震災害を想定し、筑後川流域という地域特性を踏まえた種目を重点的に実施します。
  - ◇ 水害への応急対策訓練の実施
    - ① 浸水地域での救命ボートによる被災者救出訓練や大型排水ポンプ車による緊急排水訓練を行います。（新規）
    - ② 約200名の水防団員による積み土のう工法をはじめとする6種類の水防工法訓練を行います。
  - ◇ 地震災害への応急対策訓練の実施（新規）
    - ① 主要な輸送路が寸断されたとの想定で、筑後川を活用した緊急物資の水上輸送訓練を行います。
    - ② 大規模な断水の発生を想定して、水道事業者からの断水情報の把握と事業者間の広域的な調整を実施し、給水応援をする訓練を行います。
    - ③ 災害の早い段階から、住民に被害状況や生活関連情報などを提供するため、地元自治体が臨時広報紙（ちらし）を作成・配送する訓練を行います。
  - ◇ 住民参加型訓練の拡充
    - ① 自主防災組織、町内会、老人クラブなど、多くの地域住民が参加する避難、初期消火、応急手当訓練を行います。
    - ② 地元自治体が開設した避難所の運営を地域住民や防災士等と協働で行う訓練を行います。
- 一般見学者が参加できる心肺蘇生法の講習会、地震体験車及びはしご車の体験搭乗、災害時伝言ダイヤルの利用体験、炊き出し試食のほか、防災グッズの展示などを行います。

# 平成22年度福岡県総合防災訓練について

## 1 目的

災害対策基本法、福岡県地域防災計画並びに久留米市、小郡市、うきは市、大刀洗町及び大木町地域防災計画に基づき、当該区域内に災害が発生したとの想定のもと、福岡県、地元自治体及び防災関係機関並びに地域住民が一体となって、さまざまな防災訓練を総合的に実施し、災害時における防災関係機関の連携の強化及び防災技術の向上並びに広く県民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

## 2 開催日

平成22年5月30日(日) 10時から12時20分まで

## 3 会場

筑後川左岸河川敷(二千年橋上流、久留米市東櫛原町付近)ほか12箇所

## 4 主催

福岡県、久留米市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町

## 5 参加機関

防災関係機関約180機関(消防機関、警察機関、自衛隊、医療機関等)

## 6 参加予定人員

約2,200名

## 7 参加車両等

車両：約160台(消防車、救急車、パトカー、救助工作車、化学防護車等)

航空機：11機(消防ヘリ、県警ヘリ、自衛隊ヘリ、ドクターヘリ、セスナ等)

## 8 訓練の想定

### (1) 風水害

豪雨により3市2町を中心に浸水被害が発生したとの想定で情報収集及び水防訓練並びに土砂埋没車両からの救出訓練等を行う。

### (2) 地震

筑後地方で最大震度6弱の地震が発生し、家屋等に甚大な被害が生じたとの想定で救出救助訓練等を行う。

### (3) 特殊災害

列車の衝突事故及び路線バス内での生物・化学テロ災害を想定し、福岡県DMATをはじめとする防災関係機関の連携による負傷者の救出救護及び物質の検知等を行う。

## 9 今回の訓練種目の特徴

今年は、昨年7月の中国・九州北部豪雨や、5年前の福岡県西方沖地震規模の地震災害を想定し、筑後川流域という地域特性を踏まえた種目を重点的に実施する。

### (1) 水害への応急対策訓練の実施

- ① 浸水地域での救命ボートによる被災者救出訓練や大型排水ポンプ車による緊急排水訓練を行う。(新規)
- ② 約200名の水防団員による積み土のう工法をはじめとする6種類の水防工法訓練を行う。

### (2) 地震災害への応急対策訓練の実施(新規)

- ① 主要な輸送路が寸断されたとの想定で、筑後川を活用した緊急物資の水上輸送訓練を陸上自衛隊のボート3艘にて行う。
- ② 大規模な断水の発生を想定して、県が水道事業者から断水情報を収集するとともに、他の水道事業者による広域的な給水応援活動を調整し、給水車が出勤して給水応援をする訓練を行う。
- ③ 災害の早い段階から随時、住民に対して必要な情報を提供するため、地元自治体が訓練会場からもたらされる被害情報や生活関連情報(水、食料、電気、ガス)等を基に臨時広報紙(ちらし)第1報を作成し、配送する訓練を行う。

### (3) 住民参加型訓練の拡充

- ① 自主防災組織、町内会、老人クラブ、女性協議会、少年消防クラブ等の多くの地域住民が参加する避難、初期消火、応急手当訓練を行う。
- ② 地元自治体が開設した避難所の運営を地域住民や防災士等と協働で行う訓練を行う。

## 10 その他

一般見学者が参加できる心肺蘇生法の講習会、地震体験車及びはしご車の体験搭乗、災害時伝言ダイヤルの利用体験、炊き出し試食のほか、防災グッズの展示などを行う。

一般県民の見学自由。

# 訓練種目

初動対応訓練	<p>○新 気象情報等伝達訓練(緊急地震速報への対応行動訓練含む)</p> <p>河川巡視、被災状況の調査及び情報収集・伝達訓練</p> <p>空域調整訓練</p> <p>消防相互応援協定応援要請及び集結訓練</p> <p>自衛隊災害派遣要請訓練</p>
風水害対策訓練	<p>○新 道路障害物に係る道路啓開訓練及び道路冠水に係る情報伝達訓練</p> <p>各種水防工法訓練</p> <p>○新 避難勧告等伝達訓練及び住民避難行動訓練</p> <p>○新 避難所協働運営訓練</p> <p>○新 浸水孤立者救出訓練</p> <p>土砂埋没車両からの救出訓練</p> <p>○新 ダム放流情報伝達訓練</p> <p>○新 緊急内水排水訓練</p> <p>河川転落者捜索・救出訓練</p>
地震災害対策訓練	<p>○新 災害対策広報訓練(広報紙作成)</p> <p>座屈ビルからの救出救助及び消火訓練</p> <p>○新 緊急物資水上輸送訓練</p> <p>倒壊家屋からの人命検索・救出救助訓練</p> <p>孤立地域からの孤立者救出及び緊急物資搬送訓練</p> <p>応急危険度判定訓練</p> <p>応急トイレ設置訓練</p> <p>応急仮設住宅の設置訓練</p>
特殊災害対策訓練	<p>列車事故対策訓練</p> <p>災害派遣医療チーム(県DMAT)派遣要請訓練</p> <p>応急医療救護所設置運営・広域災害医療情報伝達訓練</p> <p>生物・化学テロ災害対策訓練</p> <p>林野火災防御訓練</p>
自主防災組織等による活動	<p>食糧供給訓練</p> <p>救援物資投下訓練及びアマチュア無線による情報伝達訓練</p> <p>現地ボランティア本部設置・運営訓練</p> <p>応急手当及び簡易担架作成訓練</p> <p>○新 住民・企業による消火訓練</p>
ライフライン応急復旧等訓練	<p>電力施設応急復旧訓練</p> <p>一般通信施設応急対策訓練</p> <p>ガス施設応急復旧訓練</p> <p>○新 断水情報伝達及び広域給水応援訓練</p>

※ 下線部は新規部分